

事後評価シート

コード 6-5-4	事務事業名 健康づくり事業(健康づくりのつどい)	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	-----------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 地域住民が生涯にわたって健康管理の中で「自分の健康は自分守る」という自覚を高め、健康づくりに関する基礎知識の普及等健康づくりを推進するためのイベントとして実施する。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 毎年10月の第1日曜日に、保谷保健福祉総合センターを中心に西東京市医師会、西東京市歯科医師会他13団体と市民の協力を得て、健康づくりに関する講座・講演会・各種相談会・検診・測定等のイベントを実施する。		根拠法令等	
	事業開始時期	合併前(保谷のみ)から	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 チラシ配布数	活動指標の考え方(定義) 市民への周知(チラシ全戸配布)
	成果指標名 1次 参加者人数	成果指標の考え方(定義) 1次 健康づくりのつどい事業への参加者数
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		6,851	4,417	3,927	4,113
	国庫支出金	千円				
	都支出金			2,208	1,963	2,056
	地方債					
	その他					
	一般財源		6,851	2,209	1,964	2,057
	所要人員(B)	人	0.66	0.66	0.66	0.66
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	5,460	5,496	5,402	5,402
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	12,311	9,913	9,329	9,515
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者数)	千円	21	17	9	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	枚			86,200	90,000
	実績値	枚	83,000	83,893	88,000	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人			1,000	1,000
	実績値	人	600	600	1,000	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各コーナーともに参加された市民の方に大変好評を得ている。特に、骨密度測定はご自身の健康状態を確認できて、栄養相談・体操等の指導も受けることができ、大変人気がある。また、動物とのふれあいコーナーなども好評である。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	各市においても、同様なイベント実施している。(26市中25市が実施している)
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 6-5-4	事務事業名 健康づくり(健康づくりのつどい)	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	---------------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性	2	市民の主体的な健康づくりを支援するため健康や健康づくりに関わる正しい知識や、予防・健康増進に関する情報を発信する。
	目標の妥当性	3	
	緊急性	2	
2 市が関与する必要性	法的義務性	1	市と関係団体との協働による開催で、お互いの理解が得られている。また、市民参加を推進するための情報提供としての役割もある。
	必要性	2	
	民間との役割分担	3	
3 内容の適切さ	ニーズ	2	毎年行われている骨密度測定には多数の市民が測定するが、測定結果による予防対策を実施していない方が多い。
	規模・方法の妥当性	2	
	公平性	3	
4 実施手段の適切さ	有効性	4	将来的には、市民主体・参加の実行委員会を設置し、市民主導型のイベントとして行きたい。
	効率性	2	
	独自性	2	
合計		28	

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	生活習慣病等の疾病やねたきり状態になることを予防し健康を増進する一次予防の観点から「健康状態の維持及び増進」と健康に対する意識の啓発、健康づくりのための環境整備が重要と考える。しかし、庁内において市民まつりやスポーツフェスティバルなど類似するイベントが開催されていることから、共同での開催が可能であるかを今後検討していくことが必要と考える。

18年度における改善点	市民のニーズに合わせて、講演会を開催し日頃の生活習慣病の予防の啓発に取り組む。 また、会場が保谷保健福祉総合センター及び保谷防災センター等が中心となっており、田無地区の市民の方の送迎用としてマイクロバスの運行を継続実施する。
-------------	---

二次評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	当該事業は、市民の健康づくりへの貢献度合いを掌握し難しい点はあるものの、事業参加者を健康関連事業に誘導しているとは言いがたいのではないかと。当該事業を市民への健康の必要性や、健康づくり関連事業のPR等活動周知に特化する事業と考えた場合は、不特定多数の市民が集う機会を利用して活動すると効果的と思われる。例えば、市民まつり会場に特設コーナー・ブースを設置するなど、他イベントとの合同実施も考えられる。 また、現在の事業は、客寄せ的移動動物園や遊具に経費を投じており、真に事業として必要な経費について検討し、経費の縮減に努める必要がある。前述の他イベントとの相乗効果により、集客を検討した方がメリットは大だと思われる。

行革本部評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	費用対効果を踏まえ、二次評価記載のとおり、事業経費の縮減に努め、他のイベントとの相乗効果により参加者の増加に向けた工夫をされたい。